

(1) 前回の検討会で議論があった事項の検証について

① 「その他」自由記述の再整理について

前回議論のあった事項

- 自由回答で記載のあった内容の既存の選択肢へのあてはめに当たっては、再度、精査すべきである。
例:【問1-1 具体的な寝ている場所】
→ 「〇〇通り」については、既存の「道路」に分類した方がよいか、あるいは、「商店街」と分類した方が適切か。
- 自由回答の中で回答数が多かったが、既存の選択肢にはないものについては、新たに選択肢を設けて分類すべきではない。
(もし、仮りに当初から選択肢があった場合、その選択肢を選んでいた人が多くなるなど、調査結果の傾向が変わっていた可能性がある。)
例:【問8 路上生活の中で困っていること】
→ 回答数が多かった「仕事、お金がなくて困っている」については既存の選択肢にはない。
- 「その他」の内訳について、多かった回答をグルーピング(類型化)し、傾向を把握すべきである。

作業部会における整理方針

- 自由回答の内容を再度精査し、既存の選択肢にあてはまるものについては、当該選択肢への振り分けを行った(また、商業ビルの名称等、固有名詞も合わせて精査)。
- 内容が既存の選択肢にはあてはまらないものは、集計上は「その他」のままとする。
- 「その他」の内容については、「その他」の中で、グルーピング(類型化)することにより傾向を把握。

*(参考資料1-1)を参照。